

第1回小松市未来型図書館等複合施設
基本計画策定アドバイザリーボード

令和6年度の「こまつリビングラボ」について

2024年6月27日（木）



R6年度こまつリビングラボ（貴市資料より）

R4

機運醸成

基本構想

- 市民ワークショップでの「対話」を通じてビジョン・コンセプトの言語化、共創の機運醸成
- 子どもからシニアまで多様な市民が集い「市民と共に創る」プロセスの土台づくり

こまつを編む。
こまつを巡らす。



—まちの「情報」、まちの「つながり」、まちの「とき」—

R5

体制づくり

官民連携事業調査・事業方針作成

- 新たな共創の体制「こまつリビングラボ」を立ち上げ、幅広い課題について検討
…市民・団体・大学・企業が参画し、実証実験を行いながら機能・サービスを具体化
- 図書館やリビングラボの専門家のコーディネートのもと、延約300名が参加（5回開催）
- 「まちづくり・公共施設づくり」の進め方のロールモデルへ

実施テーマ

- 【第1回・第2回】機能・サービスの具体化
- 【第3回】ゾーニング図作成
- 【第4回】まちの回遊性方策等の検討
- 【第5回】リビングラボの小松モデルについて



対話の様子

VR技術の体験



青山学院大学
野末教授



デンマーク・ロスキレ大学
安岡准教授



R6

体制づくり

基本計画

- 施設整備に向けた「基本計画」策定に伴うリビングラボの開催
…機能の具体化や建築空間イメージ図の作成など
- 開館後を見据えたリビングラボの「ロードマップ」の作成

市職員による司会・運営
(小芝居の評判が意外とイイです)
→ 市民参加の運営に取り組んでいます

オンライン開催や中学・高校への出張開催も予定中



令和6年度のリビングラボについて

- 令和5年度のリビングラボにおいて基本構想で描いた役割(機能)を具体化させ、未来予想図として可視化させた。
- 令和6年度では、専門家等から成る「アドバイザーボード」やリビングラボにおける対話を通じて、事業方針をさらに具体化させ、基本計画や次年度以降の要求水準書等へ反映させていく。
- 令和6年度のリビングラボにおける市民との対話の成果は、主に右下の「建築空間イメージ」への集約を検討中。また、リビングラボのあり方(小松モデル)についてのロードマップを作成。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本計画	①機能・規模の検討 ⑥事業計画の作成	②整備計画の作成 ⑦周辺整備計画の作成	③管理運営・サービス計画の作成 ⑧関連整備計画の作成	基本計画案作成						
					④事業手法の検討	⑤概算事業費・VFM算定				
		⑨サウンディング調査		⑨サウンディング調査		⑨サウンディング調査		⑩事業スケジュールの検討 ⑪市民連携事業実施方針案概要作成		
アドバイザーボード	第1回 ・顔合わせ ・業務内容確認 ・第1回リビングラボ実施方針協議		第2回 ・計画づくりMTG ・第2回リビングラボ実施方針協議	第3回 ・計画づくりMTG ・第3回リビングラボ実施方針協議		第4回 ・計画づくりMTG ・第4回リビングラボ実施方針協議		第5回 ・計画づくりMTG ・第5回リビングラボ実施方針協議	第6回 ・計画づくりMTG ・(まとめ)	
リビングラボ	先進地視察 (複合機能や公園活用・市民共創関係の先進地)	第1回 図書館機能の具体化 + オンライン		第2回 複合(融合)機能の具体化 + オンライン	第3回 建築空間イメージマップ作成	中学・高校生向けリビングラボ	第4回 公園との一体整備の検討		第5回 リビングラボの小松モデルの検討	ロードマップ作成

現状の課題とR6年度リビングラボの目的

今年度において策定していく未来型図書館の基本計画では、昨年度までの検討内容を踏まえた各内容の更なる具体化を図っていく必要があります。市民と「ともにつくる」ことを重視している本事業において、リビングラボは検討の要的位置づけとります。基本構想における検討内容及びスケジュールに則った全体設計と、持続的なプラットフォームの構築の両面から、今年度のリビングラボの企画・実施を行っていきます。

■ 現状の課題

- ・ リビングラボでの対話や活動の結果をもとに、施設整備に向けた「基本計画」へ反映していく必要がある。
- ・ 未来型図書館の整備に向け、市民をはじめとする多様な人たちとともに、いまはない《未来》を創造していく必要がある。
- ・ リビングラボを、多様な主体が集まり対話し、試行錯誤を重ねられる持続的なプラットフォームとして構築していく必要がある。

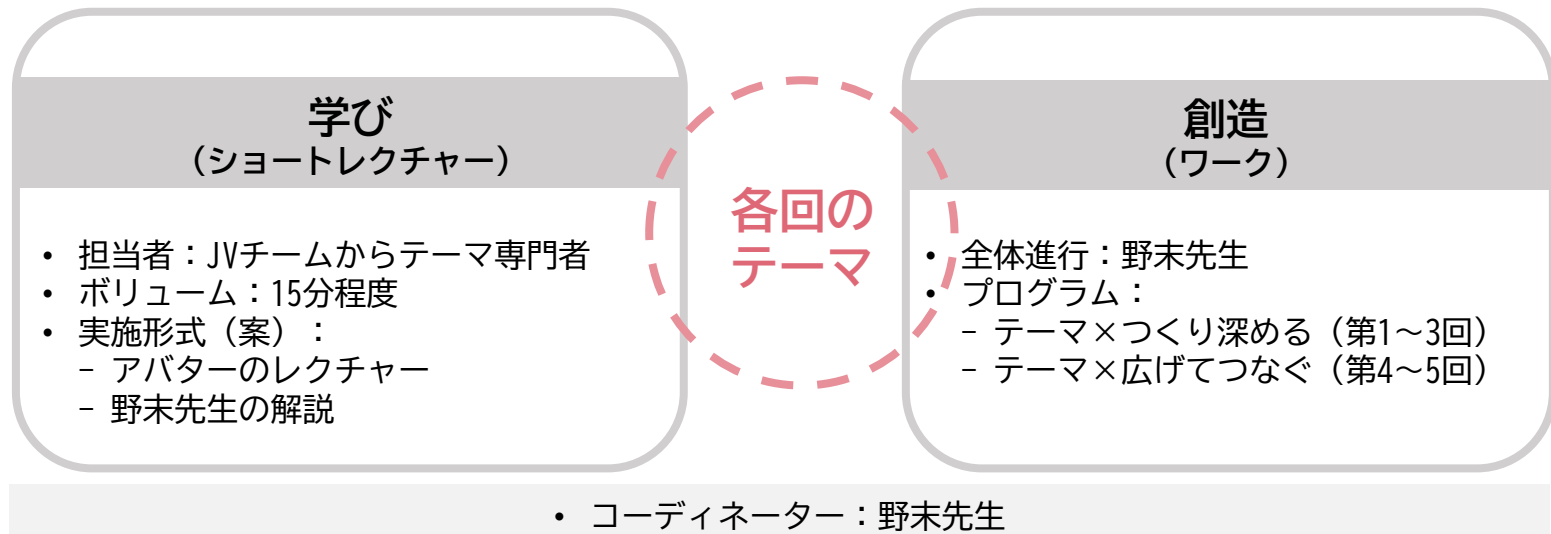
■ R6年度リビングラボの目的

- ・ 基本計画の策定に必要な、「施設機能」、「建築空間イメージ」、「公園の一体的な活用」等についてリビングラボでの対話と活動を通して創造し、具体化を図っていく。
- ・ とともに学び、ともに学んだことを踏まえて、多様な考えを交流させながらつくる行為を重ねることで、未来の創造につなげていく。
- ・ リビングラボが、対話と活動のプラットフォームとして持続的に展開していけるよう、そのあり方を検討し、ロードマップを作成する。

R6年度リビングラボの全体方針案

「未来型図書館の《未来》を創造する」 ～ともに学び、ともに考え、ともにつくる～

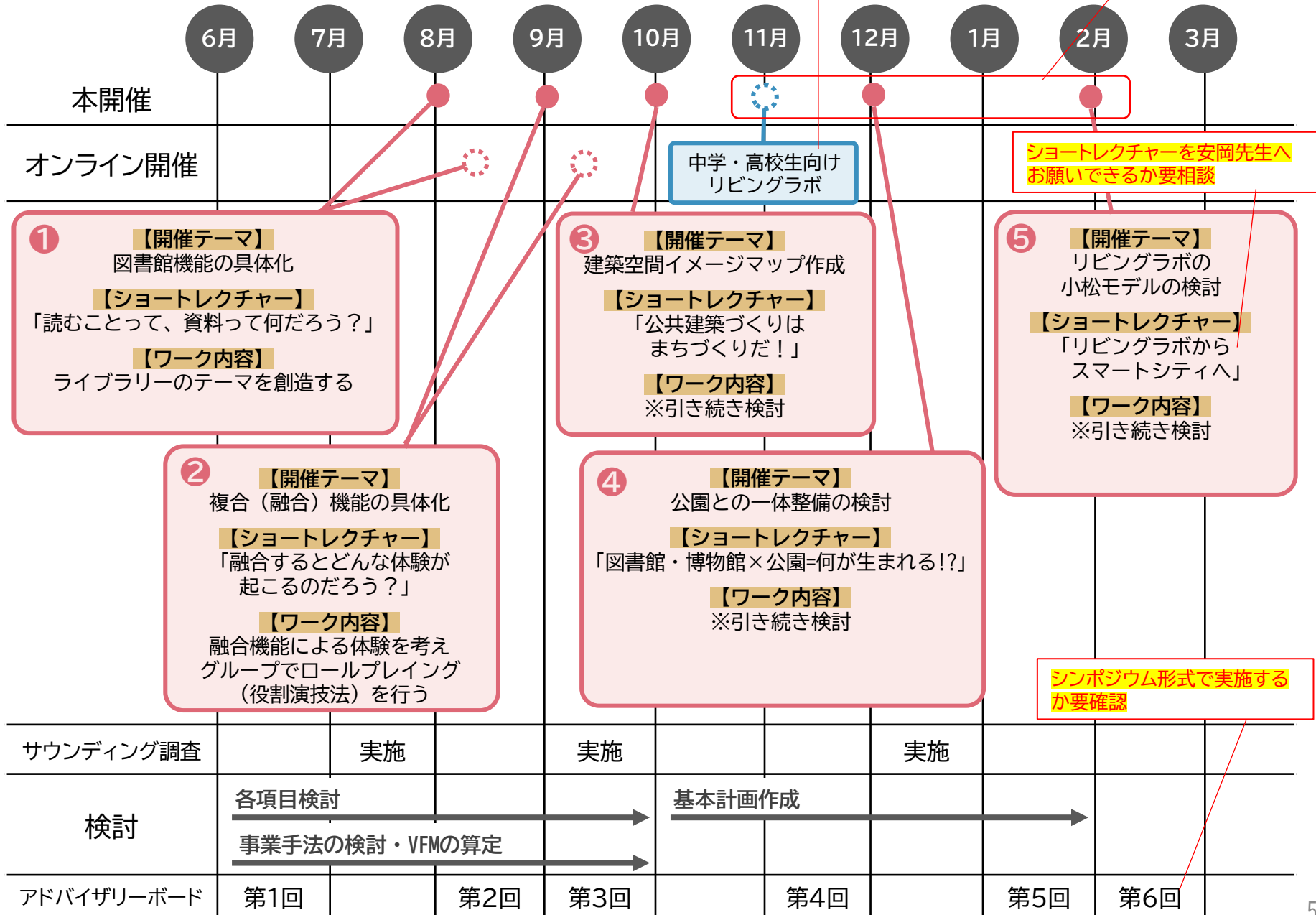
今年度のリビングラボの全体方針を上記の通りに設定します。「知る」ことや融合機能、施設整備やまちづくり等について多様な方々ともに学び考えることで、いまはない《未来》を創造し、それらもとにした共創サイクルによって具体化します。基本計画の検討・策定を見据え、全5回+2回のオンライン開催の各回の開催テーマをp.5の通り設定します。全回を通して、“学び”と“創造”をセットとして各回ショートレクチャーとワークを組み合わせた構成で実施します。



R6年度こまつリビングラボの開催スケジュール

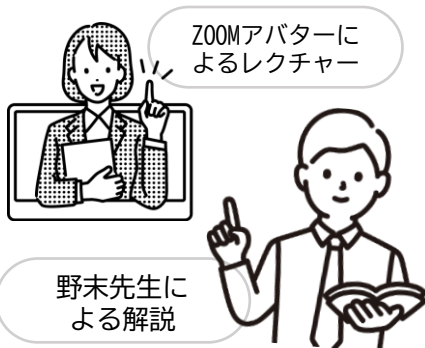
中高生向け開催内容について要確認・検討

10月以降の実施結果は基本計画内容に大きく反映が難しい(修正程度)となることに留意。あわせてワーク内容も要検討。



2024年度（令和6年度）第1回 こまつリビングラボ（R6年8月実施）開催フロー案

各回のテーマに合わせインプットの
ショートレクチャーを実施します。



ショートレクチャー



自己紹介

まずは個人ワークとして、
未来型図書館の書架にあったらいい小さな
テーマ（個人的なものでOK）を書き出します。
できるだけ多様なテーマを出しましょう。



多様な小さなテーマを考える

拡張する「読む」「資料」を意識した小さなテーマづくり

それぞれが書き出した小さなテーマを共有し、
どんなグルーピングが出来るか、そこにどんな
大きなテーマが生まれるか話し合います。
最終的にライブラリーテーマを決めます。



ライブラリーのテーマを決める

最終的に決定したテーマと、
小さなテーマから大きなテーマへとつながった
プロセスを、全体で共有します。



共有

図書館機能の核となる、みんなのライブラリーのテーマを創造する